

第1回



参加費
無料

喫茶 接合ロマン

接合科学ヒストリア講演会

主催：大阪大学 接合科学研究所

後援：(一社)日本溶接協会(依頼中)、(一社)溶接学会
(一社)生産技術振興協会

2019年

日時
場所

12月3日 火 19:00-20:30

大阪大学 中之島センター (定員70名 先着順)
大阪市北区中之島4-3-53 (下図参照)

講演
講師

「日本の鋼構造物の歴史から
紐解く溶接技術開発」

講師：中西 保正 (大阪大学招へい教授)



講演
概要

ものづくりにおいて、溶接技術(接合加工技術)はなくてはならない重要な加工方法です。日本で、大形構造物に溶接が適用されて約100年が経過しました。大形構造物における溶接(接合)の主な目的は、素材の大面積化(板継ぎ)、立体化、部材強度向上・補剛などです。材料を溶かして接合する溶接技術(融接)が普及し、ものづくりは大きく変化しました。溶接技術でないとできない構造物も多くあります。本講演会では、大形溶接構造物の歴史とその背景である溶接技術開発のポイントを紹介します。

講師
略歴

1974年 大阪大学工学研究科修士課程修了。
石川島播磨重工業(株)(現IHI)入社。生産技術
センター副所長、理事・技監、フェローを歴任。



お問い合わせ

「喫茶 接合ロマン」事務局 (メールにてご連絡ください)
jwri-cafe@jwri.osaka-u.ac.jp